



## 講演会「漫画『ペリリュー』の作者 講が語る戦争」

市立博物館の戦後75年企画「戦争ってなに？」の関連行事として、みと文化交流プラザで、12月12日に行った講演会。旧陸軍歩兵第二連隊が参戦したペリリュー島の戦いを題材にした漫画の作者・武田一義さんが、壮絶な戦闘や飢えの苦しみなどについて解説しました。

戦争体験者や現地の方への取材で得た話を、自身が描いたイラストと当時の写真を使い紹介した武田さん。「戦争体験者の方への敬意を忘れずに、私たちのような後に続く世代が、しっかりと事実を知って語り継ぐことが大切」と話しました。

▼戦後75年企画「戦争ってなに？—かなしみと腹ペコの日々—」  
期間／1月11日(月)まで 場所／市立博物館 料金／無料 ※土・日曜日、祝日は、入館予約が必要です。詳細は、同館ホームページ(<http://shihaku1.hs.plala.or.jp>)をご覧ください。  
同館(☎226-6521)へお問合せください。



## Bリーグ島田チェアマン来水

1月15日(金)・16日(土)に開催予定の「Bリーグオールスターゲーム 2021 IN 水戸」に向け、Bリーグの島田慎二チェアマンが、11月26日、高橋靖市長を表敬訪問。「バスケットボールをきっかけに水戸を訪れる方々に、地域の魅力をPRしていきたい」と語りました。

関連イベントとして、パブリックビューイングやトークイベントなども開催予定です。詳細は、市ホームページをご覧ください。



## 大洗鹿島線で サイクルトレインを初運行

12月5日、大洗鹿島線で、自転車をもそのまま車両内に持ち込む「サイクルトレイン」の実証実験を行いました。鹿島臨海鉄道と、水戸市を含む沿線自治体などで組織する「大洗鹿島線を育てる沿線市町会議」が協働で実施したもので、同線では初めての取組です。

参加者の皆さんは、自転車を押して歩きながら水戸駅改札口を通り、そのまま鉄道に乗車。北浦沿岸で、約3時間、32kmのサイクリングを楽しんだ後、再び鉄道に乗車し、水戸駅へ戻りました。



## 親子でジェルキャンドル作り

12月6日に少年自然の家で「ジェルキャンドルを作ろう!!&サンタマスケット作り」を行いました。参加したのは小学1~3年生とその保護者13組。子どもたちは、イベントを主催した水戸市サブリーダーズ会の高校生たちの指導のもと、色のついた砂や飾りを使い、自分だけのキャンドルを作りました。

参加した男の子は、「好きな水色の砂をたくさん使いました」と、海をイメージした瓶の中にアニメのキャラクターが登場するのを想像しながら、飾り付けを楽しんでいました。



## ことばのひびきを楽しもう!

チャオ!——市国際交流センターに、元気な挨拶が響き渡りました。12月5日、イタリア語と日本語で、交互に絵本の読み聞かせをするイベントを開催。子どもたちは、イタリア出身のクリスティーナさんが表情豊かに読む物語に聞き入っていました。

子どもを連れて参加した女性は、新婚旅行で訪れたことをきっかけに、イタリア語の勉強を始めたと言います。「イタリア語は耳に心地よく響くところが好きです」と、二つの言語での交流を楽しみました。

## 千波湖環境学習会 「桜川でサケの卵を調べよう」

学習会が開催された11月29日は日差しが弱く、肌寒い中でしたが、集まった子どもたちは元気いっぱい。講師から、サケの生態についてクイズを交えた話を聞いた後、桜川でサケの卵の調査を行いました。

今年、桜川ではオス・メス1匹ずつの遡上が確認されています。今回の調査では、残念ながら卵を見つけることはできませんでしたが、子どもたちはニゴイやモクズガニなど、さまざまな生物を発見。見つけた生物について、解説を熱心に聞いていました。

